



いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 7 早期落葉を防ぎ、充実した花芽を作ろう！

☆ 来年の安定生産のため、今から対策を徹底しよう！

- 1 早期落葉を防ぐため、**収穫後防除を徹底** ～褐色せん孔病対策を！～
- 2 花芽充実向上のため、**必ず礼肥を施用** ～礼肥は早めに！～
- 3 樹体を健全に維持するための**灌水の実施** ～幼木は直ちに灌水！～

1 早期落葉の防止

**早期落葉の
悪影響**

同化養分（貯蔵養分）
が減少



- ① 花芽の充実不良
（結実不良）
- ② 樹勢の低下

につながる！

■「佐藤錦」の結実数と早期落葉（R7年 県内119経営体調査）

花束状短果枝 当たり結実数	2果以上	1.5～2果 未満	1～1.5果 未満	1果未満
早期落葉が発生 した園地の割合	22.9%	12.0%	46.2%	36.4%

今年、**結実が少なかった園地は、前年に早期落葉した園地が多かった**

（1）褐色せん孔病

【防除のポイント】

- ・収穫後の防除は、**雨よけを外す前**、又は、**被覆を外した直後（雨に当たる前）**に実施
- ・収穫が早く終わっても、**予定した防除を省略せずに散布**
- ・前年に多発した園地では、予防剤に加え、**治療効果の期待できる薬剤も使用**
- ・**間隔があかないように雨前散布を徹底**
（収穫直後から10～14日間隔で5回以上散布）



褐色せん孔病

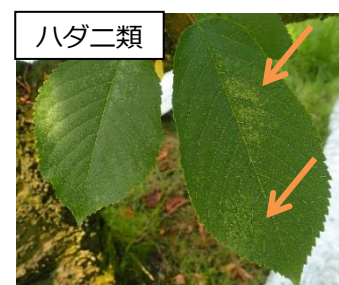
■定期的な防除が肝心！
こうなってからでは抑えきれない

【注意点】

- ・**前年多発園地**や**雨よけ被覆をしなかった園地**は、今後、発病が増加する危険性があるため、**確実に防除を実施**

（2）ハダニ類

- ・**高温乾燥時に多発する**ため、こまめに発生状況を確認
- ・**収穫後は、気門封鎖剤の散布も効果的**
（1週間間隔で2～3回、葉に付着するよう十分量を散布）
- ・かかりムができないように、主幹部、樹上部は手散布で防除



ハダニ類

■発生状況を確認し、多発する前に防除（葉にかすり症状が発生）

2 礼肥の施用

《樹体の貯蔵養分の蓄積には、礼肥が特に重要》

- ◎ 樹勢や着果量に応じて調整
- ◎ 礼肥は即効性肥料を中心に
- ◎ 施肥後、降雨がなければ灌水
- ◎ 結実が少なかった園地・樹にも必ず施用



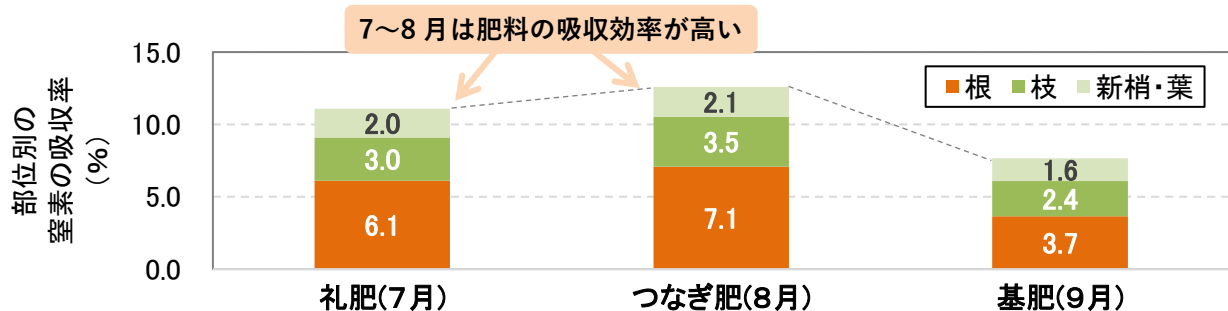
着果が多かった
「紅秀峰」「やまがた紅王」は
遅れずに多めに施肥

生育状況	・樹勢は弱い ・着果量は多かった ・地力は低い	・樹勢は概ね適正 ・着果量は平年並 ・地力は平均的	・樹勢は強い ・着果量は少なかった ・地力は高い
年間施肥量	前年より増やす	前年並	前年より減らす
年間施肥量に対する 礼肥割合	50～100%	20～50%	0～20%

※ 標準施肥量の目安(年間)：15kg/10a 程度（窒素成分）

※ 礼肥割合が50%以上の場合、緩効性肥料も組み合わせる(例:即効性50%+緩効性50%)

※ 肥料の持ちが悪い園地では、7月と8月に分けて施肥する



■ 施肥時期と部位別の窒素の吸収率(H19 農業総合研究センター農業生産技術試験場)

3 高温に対応した管理

(1) 灌水の実施

- ・高温・少雨時は、1週間に1回を目安に、20～30mm程度灌水
- ・弱樹勢樹や幼木、水持ちの悪い園地（砂質、礫質）では、乾燥状態に応じて灌水

(2) マメコバチの高温対策《高温から守り、生存率を向上させる》

- 巣箱を遮熱してマメコバチを守る
- ・ドラム缶や木製の巣箱
- ：巣箱の上や屋根に発泡スチロールと反射資材を載せる
- 巣箱の周りの草を刈るなどして風通しを良くする



■ 巣箱の遮熱の例

さくらんぼ作業中の事故が多発！！

注意！

- 暑さが続くので、**熱中症に注意！**
- 脚立は**チェーン**を掛ける！**天板には立たない！**
- 危険な作業は**二人以上**で、携帯電話を**忘れずに！**

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8291

TEL:0237-86-8301

TEL:0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)